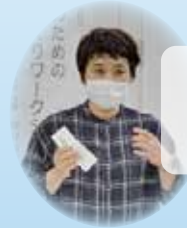


ローカルミーム(文化的遺伝子)を未来につなぐ



日本各地の先進的なローカルメディアをご紹介いただけて、とても興味深かったです。地域の資源を上手に使ったメディア作りを考えるグループワークでは、色々な意見を聞くことができ、想像をどんどん膨らませることができて楽しかったです。(大橋真里さん)

地域メディアに関わる人達だけではなく、様々な職種、幅広い年齢層の方が参加されていました。地域課題を考え、解決策を生み出すワークショップでは、参加者から良いアイデアが飛び交い、多くの発見があった時間でした。(大坪亜紀子さん)



インターネットの発展と共に新聞や紙媒体以外にも様々なツールを使って情報発信が可能になった今、時代や受け取り側にマッチしたメディアの考え方をワークショップ形式で段階的に学ぶことができました。(中島久子さん)

ワークショップの中で特に印象に残ったことは、情報発信の方法によっては、情報媒体が地域活性化のコミュニケーションツールとして活用できるということ、ある物事の情報新たな切り口で発信することによって、これまでにない魅力を伝えることができるということです。今後はこうした視点を取り入れて、文化財の魅力を多くの方々に発信していきたいと思います。(下谷淳さん)



▶グループワークでは編集委員がらいさまについて説明しました

◀下野市のローカルメディアです



みんながそれぞれのやり方で下野市の特色を残してくれたらいいよね
らいさまも長く続けられるように頑張るよ!



人が住む場所にはその地域で受け継がれてきた風習や方言などが多く残っており、影山さんはそれをローカルミーム(文化的遺伝子)と呼びます。ローカルメディアはその地域に特化したメディアであるからこそ、失われつつあるローカルミームを未来へ引き継いでいくことができるのです。情報を発信するたびに地域の文化を保存し、誰もが積み重ねられたまちの文化と魅力に触れることができるのがローカルメディアです。情報を発信し続けることが大事ということを改めて感じたワークショップでした。



つなごうね!
条例4条

(自治の基本理念)

第4条 市民が主役のまちづくりを推進することを基本理念とする

2 市民、議会及び市が協働によるまちづくりを推進することを基本理念とする。